市長メッセージ№60

福島県医療ひつ迫警報発出~年末年始の感染拡大に十分警戒を!~

【感染状况】

新型コロナの感染拡大は、全国的に第8波に入りました。本県は、先週、1日当たりの過去最 多の新規陽性者数を記録するなど、全国的にも上位の高い水準での感染拡大が続いています。

本市においても、同様の傾向で、重症化リスクの高い高齢者施設でクラスターが連日発生し、 市内の確保病床使用率は6割を超えています。救急搬送困難事案は今月既に約60件発生する など、医療への負荷が非常に大きくなっています。

こうした状況のなか、県は医療提供体制の負荷や感染者を減らすため、県独自の「福島県医療ひっ迫警報(12/16~1/15)」を発出しました。(別紙1参照)

年末年始は、会食や帰省・旅行、イベントなど人流が増加し、過去2年同様、年明け後のさらなる感染拡大が危惧されます。

今後も、ウィズコロナで社会経済活動の継続的な拡大が図られるよう、次の事項に十分留意 し、感染拡大防止の徹底にご協力くださいますようお願いします。

【年末年始の感染防止対策】

1. 室内でのマスク着用や十分な換気、会食での十分な感染防止対策など、基本的な感染防止 対策を徹底してください。

別紙2「自分が感染しない、他人にうつさない~3つのお願い~」

- 2. 急な体調不良に備え必需品の用意をお願いします。
 - ・解熱鎮痛薬やせき止め
 - ・抗原検査キット(体外診断用医薬品又は第一類医薬品を推奨)
 - ·体温計
 - ・食料、日用品 など
- 3. 症状や重症化リスクに応じた検査・医療の適正利用をお願いします。

年末年始の検査・医療体制を充実しました。次の区分に応じて、適正な利用をお願いします。

- (1)発熱など症状が出た場合(別紙3「年末年始の検査・医療体制を充実」参照)
 - ①重い症状、重症化リスクが高い方は「臨時発熱外来」をご利用ください。

緊急休日診療当番医に加え、臨時発熱外来を設置します。

12月29日(木)~1月3日(火)、7日(土)~9日(月)、14日(土)、15日(日)

- ②軽症で重症化リスクが低い方は抗原検査キットを活用し、自己チェックを願います。
 - ・手元に抗原検査キットがない方は、「福島県新型コロナ検査キット配布センター」に WEB(24時間) 又は電話(0120-941-546 毎日9時~19時)でお申し込みください。
- ③緊急性の低い方は、救急車や夜間の利用はお控え下さい。
 - ・夜間に受診するか迷ったら、「夜間救急電話相談#7799」や「こども救急ダイヤル#8000」をご利用ください。
- (2)症状はないが感染に不安がある場合(別紙3「年末年始の検査・医療体制を充実」参照) 年末年始には臨時無料検査所(抗原定性検査)を2か所設置します。心配な方はご活用ください。

①保健福祉センター(北側駐車場) ※予約サイトで事前申し込み

期間:12月29日(木)~1月3日(火)

・午前の部(9時~12時)、午後の部(13時~16時)

·件数:144件/日

②JR 福島駅 西口広場 ※当日受付(予定件数に達した時点で終了)

期間:12月29日(木)~1月9日(月)

・午前の部(9時30分~12時)、午後の部(13時30分~16時)

·件数:調整中

4. 早めのワクチン接種をご検討ください。

- ①新型コロナワクチンを2回以上完了した12歳以上の方は、オミクロン株対応ワクチンの接種が可能です。 早め(できれば年内)に1回のオミクロン株対応ワクチンの接種をご検討ください。
- ②生後6か月以上~11歳の方の新型コロナワクチン接種は、1月の予約受付を行っています。
- ③こども・妊婦、高齢者のインフルエンザワクチン接種への助成は、1月末まで延長しました。同時流行を避けるためにも、接種をご検討ください。

令和4年12月20日 福島市長 木幡 浩

別紙1

▲福島県医療ひつ迫警報

令和4年12月16日(金)~令和5年1月15日(日)

医療機関の負荷を減らす

- ・外来診療への集中を防ぐため、検査キットによるセルフチェックの積極的活用
- ・緊急性の高い方の命を守るため、救急外来・救急車の適正利用

・体調不良に備えて、検査キットや解熱鎮痛薬等の事前購入

感染者を減らす

- ・オミクロン株対応ワクチンの速やかな接種
- ・症状のある方の家族や接触した方は、自分自身に症状がなくても慎重に行動
- ・大人数・長時間の会食への参加を慎重に判断(自宅等での会食にも注意)

警戒を緩めることなく感染防止対策をしっかり行って、 別紙2 活動との両立を図りましょう!!

「自分が感染しない、他人にうつさない」~3つのお願い

- ① 休憩、会食時など気持ちが緩む場面でも、会話時のマスク着用や換気をお忘れなく!人と人との距離に十分注意し、密をつくらないようにしましょう。
- ② のど、咳、熱など体調に異変を感じたら外出を控えて下さい。 症状等に応じ、検査・医療を適切に利用し、早期確認を!
 - ・無症状 → 薬局等での無料検査
 - ・軽症で重症化リスクの低い方 → 抗原検査キットの配布
 - ・軽症でも高齢者・基礎疾患のある方、 妊婦、就学前のこどもなど、重症化 → 医療機関に連絡・受診 リスクが高い方、症状が比較的重い方
- 3 身近に体調の悪い人がいたら注意信号! 受診・検査を勧めるとともに、いつもより 感染防止を強化し、警戒を強めてください。

